

養液栽培で高品質トマト栽培

〈ふじみ野市 柿沼邦彦さん〉

似顔絵入り農園ロゴ、消費者に浸透



こだわりのトマトを手に柿沼さん

【埼玉】ふじみ野市の柿沼農園代表の柿沼邦彦さん(50)は、妻の裕紀

さん(50)らとともにトマトなど野菜約15品目を栽培している。

化成肥料を極力使わず有機質の多い肥料を使用、主力のトマトは高品質な果実づくりのため、土耕から樽を用いた養液栽培に変更した。栽培管理を徹底し、甘みと酸みのバランスがとれたトマトを作っている。

4年前にはオリジナルの農園ロゴマークを作った。柿沼さんの似顔絵が入ったロゴマークは商品を見つけやすいと、お客さんに好評だ。JA直売所やスーパーでの販売のほか、市が開く軽トラ市にも出店。農園ロゴマークの入ったエプロンを夫婦でつけ、その時期イチ推しの野菜を売る。始ま

る前から行列ができ、毎回盛況だという。年間を通して自分のトマトを味わっていただきたいという思いから、ジュースなど加工品への手

「次世代に農業をつなげていきたい。そのためにも、今から環境を整えていきたい」と柿沼さんは思いを語る。

全国農業新聞 令和5年6月2日号 第8面 首都圏版